

平成22年2月13日

「保護者アンケート」のまとめ

1 はじめに

保護者の皆様「保護者アンケート」に御協力頂き、誠にありがとうございました。
学校に対する評価や御意見は今後の学校経営の参考にさせていただきます。

2 アンケート結果（別紙）

回収率 88.9%（回答者数 361人 / 406人）

3 主な意見（主観的・抽象的など根拠や内容が明確でない意見は省略）

（1）特徴的なこと

アンケート結果のポイントは高くなっているが、批判的な意見が大部分
勘違いやお子様と言われた部分的な面だけで判断されている意見
家庭での問題ではないかなとも思われる意見
全て学校の責任、何でも学校でと思われるような意見
学力・冬季の部活動・交通マナーに係る意見が大部分

（2）主な意見

学力（授業）に係る内容	アンケート（P3～4）	は肯定的な意見
【保護者の意見】	【学校の指導・取組】	【学校としての意見】
塾の先生のような指導を 生徒の授業中の私語 宿題が少ない 補習の強化 試験前の部活停止3日間	・授業中の指導方法 ・授業規律の確保 ・宿題（週末、各教科） ・個に応じた指導 ・補習や補充の取組	更に研修を深め実践力を向上 学校全体として規律の指導を強化 主体的に学習できる習慣 家庭学習の定着 日頃の授業と計画的な日々の学習計画

熱心な先生の指導

週末課題等、毎週丁寧に出して頂いている教科

ルール・マナーに係る内容	アンケート（P8）	は肯定的な意見
【保護者の意見】	【学校の指導・取組】	【学校としての意見】
交通マナーが悪い ・二列や三列、飛び出し ・ヘルメット 服装違反 ・スカート、パーマ等 ・だらしない格好	・安全指導の取組 ・命を守る指導の徹底 ・毎日の登下校指導 ・全校集会、学年集会 ・警察署による講話 ・学校のきまりを遵守	交通マナーの悪い生徒を見られたら 即学校に連絡、また、我が子の状況を把握し、家庭でも指導（雨の日の登下校はカッパ着用など） 服装など学校のきまりの指導は家庭の協力が不可欠

家庭の指導の責任

冬季のクラブ活動に係る内容	アンケート（P6）	は肯定的な意見
【保護者の意見】	【学校の指導・取組】	【学校としての意見】
冬の朝練習（積雪時） S B 区域は親が送迎 積雪時の部活動	・部活動を重視 ・朝の練習は自主参加	積雪時の練習には配慮、現状は50%の生徒が参加 積雪時の下校時間には配慮

休日、平日を問わず早朝よりの熱心な指導

部活動の熱心な指導に感謝

その他

【保護者の意見】	【学校としての意見】
学校で注意されない生徒が沢山 休業中の課題、習っていない内容 学校の決まりの指導の徹底 部活動の連絡 部活の懇談会の回数（増加） テスト結果のアドバイス 下校時間は事前連絡（迎えの関係） 修学旅行の金額（事前に、高額） 行事や参観日日程（数ヶ月前には） マナーやルールの指導 登下校の親の送迎（自分の力で） 生徒会の自主的な活動 生徒指導で学習指導の時間が減少	誰にでも同じ注意（直らない生徒も）、家庭にも説明 生徒に説明済、テスト範囲も削除 指導は毎日、是非家庭でも協力 その都度連絡、再度連絡については確認 部活の顧問に連絡して頂ければ懇談会の開催は可能 全体には説明、個々の生徒については教科で検討 事前に生徒には連絡、緊急な場合はその日に変更 金額は入学説明会で提起、旅行費用については検討も 変更の場合もありますが、事前連絡を検討（年間行事予定） 学級、学年、全校での指導（集会）、気付いたらその場で 毎日、家庭の協力が必要 家庭の事情、親の判断 不十分ではあるが、生徒会・学級の活動（専門委員会、部 長会、挨拶運動、人権標語など） 学習指導も頑張っていますが、家庭での役割は家庭で、学 校で家庭のことを指導する生徒が増加

中学校に入学以来気持ちを高めて頂き感謝

学校からの連絡はわかりやすく信頼できますが、部活動の連絡は頼りない

ホームページ楽しみにしています。いろんな項目の更新に期待

日々の熱心な指導に感謝 先生の一言の励ましに子どもは生き生き

熱心な部活動指導に感謝

4 結果からの考察

数値は殆どの項目においてポイントが高くなっている。

項目	頁	考察
本校の教育活動	1 ~ 2	一定の理解を得ているが、家庭との連携や生徒の活動の様子など積極的に公開する必要がある。安全指導は家庭の協力も得ながら指導の徹底を図らなければならない
学力の充実向上	3 ~ 4	保護者の期待も高い。学校としても今後更なる指導方法の改善、学力定着の取組を推進しなければならない。（家庭学習は課題）
心の教育	5	人権意識・規範意識の醸成など心を耕す取組が必要である。
部活動	6	教育活動には欠かすことのできない活動、今後も指導を充実させる。（心の教育、社会性の育成）
生徒の生活面等	7 ~ 8	生徒との信頼関係を構築し、生徒の意欲を喚起することが必要である。（誰もが楽しいと言える学校づくり）家庭の協力も得ながら「当たり前のことが出来る」生徒を育成すること必要である。
教師との信頼関係	9 ~ 10	一番大切なことであり、生徒の持っている力を伸ばすための基本である。信頼関係の構築のためお互いの連携が必要である。
学校との信頼関係	1 1	学校に対する信頼を更に高めるために、一人一人を大切にされた教育活動を推進していかなければならない。